



第 27 号

代田・九条の会News

2011/02/14

編集
代田・九条の会
小澤 清子
菊池 政枝
伊東 宏

itohiroshi1007@gmail.com

戦争遺跡 旧陸軍登戸研究所 見学会

2月26日(土) 小田急線・生田駅 午前9時30分集合

(出発:9時50分 終了:12時予定)

見学場所:川崎市多摩区東三田 明治大学・生田構内

案内:旧陸軍登戸研究所の保存を求める川崎市民の会

1937(昭和12)年=日中全面戦争が始まった年、生田村、陸軍科学研究所の巨大な秘密の実験場が作られた。
1941(昭和16)年=アジア・太平洋戦争開戦の年、「登戸研究所」は陸軍技術本部直属の「第九研究所」となり、主要業務も極秘兵器・資材の調査・研究・開発とされ、それは陸軍の内部でも完全に極秘とされた。

研究所では、「毒物・病原菌の研究・開発」、「風船爆弾」、スパイ(工作員)やゲリラ戦部隊用の「秘密インキ」や「かくしどり用小型カメラ」ほか多種類の「謀略兵器」の開発製造、などをおこなった。

また、日中戦争中に中国経済を混乱させるために、「にせ札」を大量に作った。

*参加希望者は25日までにご連絡ください。 小澤 清子 (Tel3487-3985)

2011年活動計画決まる

2月6日(日)梅ヶ丘・甕(こしき)にて、世話人会を新年会と兼ねて行ないました。

参加者は9名で、横川さんが都合で欠席になり、急遽、山田珠真子さん(東演代表・女優)が出席されました。今年の活動計画は下記のように決まりました。

- ① 平和原則を踏みにじり、軍拡と海外派兵を推し進める新防衛大綱の決定、日米同盟・武器輸出三原則の見直しなど、きな臭い動きのある中で会員・賛同者の輪を広げる。当面代田人口の1%をめざします。
- ② 世話人会事務局会議・ニュースの発行・配布は、従来通り毎月1回行ないます。
- ③ イベントなどの計画

2月26日(土) AM 「旧陸軍登戸研究所」見学会

5月7日(土) PM 「憲法記念日によせてのつどい」

8月6日(土) PM 「終戦記念日によせて・映画会」

『ハーツ・アンド・マインズ』(ベトナム戦争の真実)

11月3日(木・休) 「3周年のつどい」

*尚、会場の関係などで日程の変更がある時は、ニュースでお知らせします。

- ④ 財政は、イベントの講師料・出演料も通常より安価でお願いしていますが、イベントの成功(参加費)、加入者を増す(入会費)、物資の販売、ニュース郵送料の募金などです。
- ⑤ 役員の変更は、会計監査が増形 昌男さんから坂本 功さんになりました。

ことしも、宜しくお祈りします。ご意見をお寄せください。(世話人会事務局 小澤 清子)



世田谷・九条の会交流会に出席して

1月30日(日)午後、世田谷・九条の会の交流会が宮坂区民センターで開かれた。世田谷区内で活動をしている、九条の会から約30名が参加した。

初めに、東海大学教員の永山茂樹さんから「憲法をめぐる情勢について」話があった。最近の情勢の特徴を、改憲国民投票法の状況、民主党の軍事政策、海外派兵の状況、世論の動向、その他の改憲動向、としてまとめられた。表ではあまり改憲が語られないが、底流ではいろいろな動きがあるようだ。

その中で、ソマリア沖の海賊対策で、隣国のジブチに戦後、日本初の「海外(軍)基地」が作られている話にはびっくりした。昨年4月に外務大臣同士の交換公文というのが取り交わされて、進められている。国会の審議には、かけなくて済む、ということのようだ。また、調べてみると、1月13日に米議会の調査機関 CRS が発行した「日米関係に関するレポート」にも「an overseas base for its military」と紹介されていて、国外での「認知度」の方が高いのか、と驚いてしまった。こんな形の憲法違反=海外派兵は許せない。

その後、各地域からの報告があった(代沢、成城、喜多見、烏山、砧・大蔵、弦巻・新町、松沢、桜丘、代田と世田谷)。活動している地域を示した地図が配布されたが、世田谷の全域を覆ってはいないのだ、と実感した。

(代田2丁目・伊東 宏)

六本木に米軍基地はいらない 第1回)

六本木にある国立新美術館に隣接して、米軍基地があるのをご存じですか。広さは 32000 m²あります。赤坂プレスセンターと称しています。新美術館敷地の南西側です。大きな美術館を三つも擁するこの街に、米軍基地はなにか異様です。ここでは基地の現状を、東京民報 (2010/8/22 号) 記事と、都や港区の広報、麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会資料などをもとに紹介し、現在の世界政治の状況を視点を、基地について考えてみます。

米軍基地と新美術館及び都立青山公園の一带は、旧陸軍 (通称麻布三連隊) の施設でした。敗戦後、米軍はここを接收し、講和条約 (1951 年) と同時に結んだ日米安保条約の下で、引き続き占拠してきました。その後、敷地の 2/3 程を返還しましたが、残ったところに現在の基地を残留させています。

基地は、ヘリポート、宿舎、広報機関などの施設を持ちます。ヘリポートには軍用ヘリコプターが定期的に、時には夜間にも、離着陸しています。横田、厚木、横須賀にある在日米軍基地とこの基地間の軍属の移動に使われています。

基地周辺の住民は、ヘリコプターの離着陸による騒音被害を受けており、安全面でも常に不安に晒されています。実際、1993 年に、横田基地からこの基地に向かうヘリコプターが、杉並区の中学校の校庭に不時着することがありました。最近では、横浜市などで数回も不時着事故を起こしています。

1993 年から現在まで、米軍は理不尽にも基地を拡張している実態もあります。この起こりは、1983 年の米軍基地の地下に環状 3 号線を通す工事に関係します。工事に当たり、都と国 (防衛施設局) 及び米軍の三者で協定を結びました。協定は、(1) 工事期間中の『臨時ヘリポート基地』として東京都は 4300 m²の土地を青山公園内に提供する、(2) 工事完了後は『原状回復』して都に戻す、とするものです。1993 年に工事は完了しますが、米軍は「飛行の安全性が高められ、騒音も減らせるので継続使用したい」と国や都に告げ、青山公園内の土地を一方的に奪い取ってしまいました。港区や都の住民団体の再三の要請にも拘わらず、今に至るまで居座っています。

2001 年に緒方議員、井上議員 (共産党) は、小泉内閣総理大臣あてに「政府は、米軍の臨時ヘリポートの即時返還を求めるべきである」とする質問主意書を提出し、国に米国へ働きかけるよう促しました。答弁は、「国としては米軍に要望は伝えている、今後早期に結論を得るべく、引き続き努力したい」とするもので、米軍の無法を認める政府の姿勢を露呈するものでした。(以下、次号) (代田 2 丁目・坂本 功)

集会等の紹介

世田谷区・平成 22 年度ピースセミナー 平和都市宣言 25 周年記念事業

- ② 2月26日(土) 午後1時～3時
「原爆体験はどのように語られてきたか」 濱谷 正晴 氏 (一橋大学名誉教授)
- ③ 3月12日(土) 午後1時～3時
「ビキニ事件 今どうしても伝えたいこと」 大石 又七 氏 (第五福竜丸元乗組員)
- 会場 三茶しゃれなード (世田谷区三軒茶屋分庁舎 5 階)
申込み せたがやコール (TEL03-5432-3333 Fax03-5432-3100)
主催 世田谷区教育委員会 (TEL03-5432-2732)

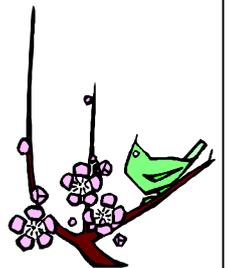
3月11日(金)～17日(木) 午後1時30分 または 午後6時30分開演

劇団東演公演・「ハムレット」

一般 4500円 (4人まとまると13500円)、

シニア (65歳以上) 4000円、

会場 下北沢 本多劇場 (下北沢駅下車) 主催 劇団東演 (TEL03-3419-2871)



日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。

近々、
ホーム
ページ
を開設
します。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～